

■ 大会日程 (予定)

9月1日 (火)	
午前	プレカンファレンス
昼	開催校挨拶・基調講演・企業セッション
午後	一般セッション・インタラクティブセッション
9月2日 (水)	
午前	一般セッション
昼	40周年記念シンポジウム
午後	インタラクティブセッション (含学生セッション) ・企画セッション
夜	懇親会
9月3日 (木)	
午前	一般セッション
昼	クロージングセッション・表彰
午後	招待講演 (公開) ・公開フォーラム

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 投稿・参加申込のスケジュール

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。

発表者には、参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2015年6月10日(水) 投稿締切
- 2015年6月12日(金) 参加申込開始
- 2015年7月10日(金) [発表者] 参加申込締切
- 2015年8月4日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2015年8月12日(水) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

■ 宿泊について

会場までのアクセスの良い徳島市内でのご宿泊をお勧めします。大会 Web サイトの「アクセス・キャンパス・宿泊情報」ページに、徳島駅前の宿泊施設に関する市街地マップへのリンク等、交通アクセスも含めた参考情報を掲載しております。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560円 学生会員：3,240円 非会員(学生以外)：10,800円 非会員(学生)：5,400円 論文掲載料：1,000円(論文一編につき)	一般会員：8,500円 学生会員：4,000円 非会員(学生以外)：12,000円 非会員(学生)：6,500円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：7,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：8,000円 学生：3,000円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、招待講演、公開フォーラムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会への参加申し込みは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ プレカンファレンス (9月1日(火) 午前)

1. 教育の情報化と ICT Connect 21 の活動
2. eラーニング教材の蓄積を活用した大学教育・生涯学習における新しい学習形態に向けて (2)
3. 社会人の学び直しを支援する大学院での FD と Moodle レシピ
4. 編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門 ―教育実践をいかに論文化するのか?―
5. 情報技術を利用した産学官連携人材育成の現状と問題提起
6. 目指せ、英語による論文投稿・発表 ～若手研究者・学生のチャレンジ応援企画～

○ 企画セッション (9月2日(水) 午後)

1. eラーニング環境のデザインと人材マネジメント
2. 新しい時代を生きる子どもたちのための情報リテラシー教育
―日本における情報教育の現状と問題点―
3. 大学間連携に基づく新しい教育・学習環境
4. 新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン
5. 身体知・経験知に関わる学習支援のデザインと評価
6. アクティブラーニングと情報活用能力
7. サステナブルな医療者教育を目指した先進的教育デザイン
8. 教学 IR や Learning Analytics によるマルチレベルな学習分析と教育改善を目指して
9. プレゼンテーションにおける学習支援
10. 能動的・自律的な学びを支援する学習環境の設計・構築・実践
11. 実践的情報教育の手法と適用事例

○ 懇親会 (9月2日(水) 夜)

阿波観光ホテルにて開催

■ インターネット接続について

学会期間中に、徳島大学の無線 LAN サービスを提供予定です。利用希望者には、無線 LAN の受付において利用申請書を記入の上、ID・パスワードが記載された用紙を配布する予定です。

■ 予稿集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の予稿集は、8月25日(火)に大会参加者のみに公開され、2016年3月1日(火)に一般公開されます。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 大会事務局

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
教育システム情報学会 全国大会委員会
E-mail: jsise-desk@bunken.co.jp

教育システム情報学会 (JSiSE)
2015年度 第3回研究会 発表募集

担当:小西達裕, 林敏浩, 安間文彦 (研究会委員会)

「第二言語学習支援／一般」をテーマに, 教育システム情報学会2015年度第3回研究会を下記のように静岡大学浜松キャンパスにて開催します.

■テーマ : 第二言語学習支援／一般

■開催日 : 2015年9月19日 (土)

■開催場所 : 静岡大学浜松キャンパス情報学部 (〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1)

[Http://www.inf.shizuoka.ac.jp/about/access.html](http://www.inf.shizuoka.ac.jp/about/access.html)

■発表申込締切 : 2015年7月24日 (金)

■原稿提出締切 : 2015年8月21日 (金)

■趣旨 : 第二言語学習には早くから視聴覚機器や情報機器が取り入れられてきましたが, 近年のコンピュータサイエンスの発展に伴い, 高度な技術をベースとした魅力的な学習教育システムや電子教材が構築されるようになってきました。また第二言語学習における新しい教育手法を取り入れてデザインされた学習教育システムも数多く構築・運用されるようになってきました。さらにはモバイル・ユビキタス機器の活用によって, 第二言語学習の場は時間的・空間的に大きく拡張されています。このような状況を踏まえ, 第3回研究会では第二言語学習支援をテーマに, コンピュータネットワーク, メディア処理, ユビキタス機器, 自然言語解析, テキストマイニング, 音声対話処理, 対話エージェント, 認知モデルなどの先端的技术を活用したシステム・教材, ならびに新しい教育手法を取り入れたシステム・教材の構築, 及びそれらを活用した授業運用や自学自習支援などに関する研究発表を広く募集します。また, その他一般テーマの研究発表も歓迎しますので, 奮ってご応募ください。

■発表申込方法：

発表申込先に、電子メールで下記の項目をお送りください。

なお、メールの件名には「JSiSE第3回研究会申込」とお書きください。

- (1) 発表タイトル
- (2) 発表者（登壇者に○）
- (3) 所属
- (4) 概要（200字程度）
- (5) 連絡先住所，氏名，電話番号，電子メールアドレス
- (6) その他，発表に関する要望

※発表申込締切：2015年7月24日（金）

※発表申込先：サイバー大学 安間文彦 宛E-mail：fumihiko_anma@cyber-u.ac.jp

■発表原稿の提出：

1. 原稿サイズと枚数

原稿は、A4判で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。

2. 原稿の様式

学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページに掲載しております「研究会報告執筆要領・見本」をご確認ください。その際、「英文アブストラクト」にかえて「和文アブストラクト」を記載してください。

[学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ] <http://www.jsise.org/society/format.html>

3. 原稿送付方法と送付先

原稿は、フォント埋め込みされたPDF形式で、下記のメールアドレス宛に添付して送信して下さい。なお、原稿をPDFに変換する際に、図の解像度を明示的に指定し(300dpi以上)、鮮明に印刷可能であることを確認してください。

また、学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページに掲載しております「著作物利用許諾書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、発表原稿と併せて電子メールでお送り下さい。

[学会Webサイトの研究会報告執筆要領ページ] <http://www.jsise.org/society/format.html>

※原稿提出締切：2015年8月21日（金）

※メールの件名：「JSiSE第3回研究会発表原稿（お名前）」でお願いします。

※原稿等送信先：サイバー大学 安間文彦 宛

E-mail：fumihiko_anma@cyber-u.ac.jp

■お問い合わせ，発表申込，原稿提出先：

サイバー大学 安間文彦

E-mail：fumihiko_anma@cyber-u.ac.jp

電話：03-6895-0438

教育システム情報学会 (JSiSE) 2015 年度 第 2 回研究会 プログラム

研究会委員会担当：不破 泰（信州大）、小松川 浩（千歳科技大）、布施 泉（北大）、野崎浩成（愛教大）
会場校サポート：金子大輔（北星学園大）、山川広人（千歳科技大）、林康弘（千歳科技大）

■テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般

■開催日時：2015 年 7 月 4 日（土） ※日本教育工学会研究会と同日開催です

■会場：北星学園大学（〒004-8601 札幌市厚別区大谷地西 2-3-1）

札幌市営地下鉄東西線「大谷地」駅 1 番出口より徒歩 5 分。

詳しくは、北星学園大学 Web サイトの「交通・アクセス」

[\(http://www.hokusei.ac.jp/site_information/access/\)](http://www.hokusei.ac.jp/site_information/access/)をご参照ください。

■□■プログラム■□■発表時間：1 人 25 分（発表 18 分、質疑 6 分、交代 1 分）

【A 会場 C500】

9:20 ～ 受付開始

10:00 ～10:05 開会の挨拶（A 会場で）

A1-1) 10:05 ～10:30

プレイスメントテストにおける情報の科学的理解とレポート課題への取り組みの関連性

○時田真美乃，鈴木彦文，長谷川理，不破 泰（信州大学）

A1-2) 10:30 ～10:55

情報倫理教材の視聴による知識習得 —メディアの違いと前提知識を踏まえた分析—

○布施 泉，岡部成玄（北海道大学），深田昭三（愛媛大学），中村 純（大阪大学），
山之上卓（福山大学），中西通雄（大阪工業大学），村田育也（福岡教育大学），多川孝央（九州大学）

A1-3) 10:55 ～11:20

初年次教育での就学状況把握のためのデータ検討

○高橋駿嗣（千歳科学技術大学大学院），石田雪也，大河内佳浩（千歳科学技術大学），
小松川浩（千歳科学技術大学大学院）

A1-4) 11:20 ～11:45

産業社会に関する教育の I C T 活用と知的財産の保護(2) —個人情報保護法の認識度の調査から第 2 報—

○金山シゲオ（拓殖大学）

【お昼休み】

JSET 13:05 ～14:45 日本教育工学会との合同公演

講演・シンポジウム「経験学習とリフレクション」松尾 睦（北海道大学大学院）

A2-1) 15:00 ～15:25

障害児の発音指導支援のための Web アプリケーションの開発：

家庭での反復練習促進及び教育機関と外部専門家の連携推進へ向けて

○勝瀬郁代（近畿大学）

A2-2) 15:25 ～15:50

タッチ入力と音声入力による俳句入力手法の相違の検討

○高田伸彦，吉田一誠（金沢学院大学），鈴木雅実（KDD I 研究所），柳澤良一（金沢学院大学），
浅見健司（アイオーデータ）

A2-3) 15:50 ～16:15

主体的な学びを支援する e ラーニングシステムの機能検討

○梅津敬太，小松川浩（千歳科学技術大学大学院）

A2-4) 16:15 ～16:40

項目反応理論を用いた適応型テストの能力値推定精度に関する研究

○平澤 梓（千歳科学技術大学大学院），光永悠彦（島根大学），小松川浩（千歳科学技術大学大学院）

16:50 ~17:00 終了挨拶 (A 会場で)

【B 会場C502】

9:20 ~ 受付開始

10:00 ~10:05 開会の挨拶 (A 会場で)

B1-1) 10:05 ~10:30

子ども向けプログラミングワークショップへのスタッフ参加による学びの一調査
○伊藤 恵, 木塚あゆみ, 原田 泰 (公立ほこだて未来大学)

B1-2) 10:30 ~10:55

グラフィカルな仮想マシンによるアルゴリズムの視覚化とその初期プログラミング教育への適用
○堀田英一 (金沢工業大学)

B1-3) 10:55 ~11:20

LMS とクラウドストレージの連携による教材管理の提案
○新村正明, 長谷川理, 國宗永佳 (信州大学)

B1-4) 11:20 ~11:45

小規模組織における実力養成支援ツールに関するシステム考察ー“学習基盤”コンセプトおよびその実践ー
○井上一郎 (京都産業大学)

【お昼休み】

JSET 13:05 ~14:45 日本教育工学会との合同公演

講演・シンポジウム「経験学習とリフレクション」松尾 睦 (北海道大学大学院)

B2-1) 15:00 ~15:25

ハングル能力検定試験のためのモバイル学習ツールの開発と評価
○金 義鎮, 金 惠鎮 (東北学院大学)

B2-2) 15:25 ~15:50

サービスラーニングにおいて ICT を活用した実践例とその教育効果
○坂本毅啓, 佐藤貴之 (北九州市立大学), 中原大介 (福山平成大学)

B2-3) 15:50 ~16:15

テキストコミュニケーションツールに記録されたメッセージから受講生と教員の相互作用を明らかにする
質的分析の試み
○斐品正照 (東京国際大学/東北大学), 浅羽修丈 (北九州市立大学),
三池克明 (佐久大学信州短期大学部), 大河雄一, 三石 大 (東北大学)

B2-4) 16:15 ~16:40

知識マップを用いた協調的作問学習の一提案
○高野泰臣 (千歳科学技術大学大学院), 辻 慶子 (産業医科大学), 金子大輔 (北星学園大学),
山川広人 (千歳科学技術大学), 小松川浩 (千歳科学技術大学大学院)

16:50 ~17:00 終了挨拶 (A 会場で)

【情報交換会 (懇親会)】

研究会終了後、本学大会会館 3 階にて、日本教育工学会と合同で、情報交換会 (参加費 4,000 円) を開催
します。当日の参加もある程度は受け付ける予定ですが、合同開催は参加者数の推測が困難なため、できる
限り事前に申し込み手続きをお願いいたします。

申込み URL : <http://goo.gl/forms/h99AnVg39M>

【プレゼン用 PC 接続について】

会場のプロジェクタはすべて HDMI での接続です。ただし各部屋に VGA 用の変換器を準備する予定です。

教育システム情報学会 2015 年度第 1 回研究会報告

研究会委員会担当：仲林 清（千葉工業大学）、松居 辰則（早稲田大学）、北村 士朗（熊本大学）、
 真嶋 由貴恵（大阪府立大学）、加藤 泰久（NTT）、櫻井 良樹（熊本大学）

■テーマ：eラーニング環境のデザインと組織マネジメント

／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般

■開催日：2015 年 5 月 23 日（土）

■会場：千葉工業大学 津田沼キャンパス

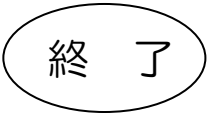
<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/campus/tsudanuma.html>

<http://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/index.html>

■備考：電子情報通信学会 ET 研究会と同時開催です。

■概要：第 1 回研究会は「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般」のテーマで、5/23（土）に、千葉工業大学で実施しました。発表件数は 21 件で、2 つの平行セッションで実施しました。午後最初のセッションは、同時開催を行った電子情報通信学会 ET 研究会と合同で実施し、東京理科大学の伊藤紘二先生による特別講演で、教育学の研究の歴史と意義、今後の課題等興味深い内容をお話し頂きました。様々な分野での eラーニングの実践を中心に活発な議論が行われました。医療・看護・福祉分野からは 6 件（昨年も 21 件中 6 件）の発表があり、同分野での eラーニングの導入・実践が引き続き活発に行われている状況を知ることができました。質疑も活発に行われ、関心の高さを伺うことができました。参加者数は 68 名（昨年は 51 名）と多数のご参加をいただき、合同懇親会も 28 名と大盛況でした。

— 2015 年度 研究会開催予定 —

<p>第 1 回研究会（担当：仲林 清，松居辰則，北村士朗，真嶋由貴恵，加藤泰久，櫻井良樹）</p> <p>◆テーマ：eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／ 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般</p> <p>◆日程：5 月 23 日（土）</p> <p>◆場所：千葉工業大学</p>	
<p>第 2 回研究会（担当：小松川浩，野崎浩成，布施 泉，不破 泰）</p> <p>◆テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般</p> <p>◆日程：7 月 4 日（土）</p> <p>◆場所：北星学園大学 ※日本教育工学会研究会と同日開催</p>	
<p>第 3 回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）</p> <p>◆テーマ：第二言語学習支援／一般</p> <p>◆日程：9 月 19 日（土）</p> <p>◆場所：静岡大学（浜松キャンパス）</p>	
<p>第 4 回研究会（担当：三石 大，光原弘幸，佐々木整）</p> <p>◆テーマ：新技術の開発と活用による次世代教育・学習環境のデザイン(予定)／一般</p> <p>◆日程：10-12 月</p> <p>◆場所：岩手県立大</p>	
<p>第 5 回研究会（担当：曾我真人，柏原昭博，小尻智子，長谷川忍）</p> <p>◆テーマ：身体知・スキル支援／一般</p> <p>◆日時：2016 年 1 月 30 日（土）</p> <p>◆場所：関西大学</p>	
<p>第 6 回研究会（担当：西端律子，西野和典，鷹岡 亮，中村勝則）</p> <p>◆テーマ：21 世紀型能力と情報教育／一般</p> <p>◆日程：3 月中旬</p> <p>◆場所：関西エリアを予定</p> <p>※特集論文研究会と同時開催を予定</p>	

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 14

***** Extended Deadline: 12th June, 2015 *****

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published The Journal of Information and Systems in Education annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 13 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information communication technology (ICT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of ICT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that "e-learning" frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topics of papers includes, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Dates:

Submission deadline: 12 June, 2015 (Extended!)

Instructions for Authors:

Please refer to the "Authors Instruction" in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:
https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

Vol.14 will be published on the J-STAGE Web site
(<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>).

The papers accepted in the next year (2016) will be appeared in Vol.15.

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは

学会誌・研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、（株）毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階
TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555
Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

- JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。
- 年間購読料 4,000 円/年 6 回発行<送料込>

新 入 会 員 募 集

一般社団法人教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌、研究報告書(年間購読お申し込みの方)などがお手元に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申し込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会 Web ページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので (PDF ファイル) ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAX か、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くという**キャンペーンを行っております。

そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光 3 丁目 3-25-101 号
一般社団法人教育システム情報学会 事務局宛
TEL/FAX 06-6324-7767 Email : secretariat@jsise.org

再度お知らせいたします

事務局より

教育システム情報学会会員 各位

一般社団法人教育システム情報学会
会長 前迫 孝憲
事務局長 家本 修

会員情報管理システムの運用開始と、
2015年度年会費請求書発行のお知らせ

教育システム情報学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より本学会の活動にご理解、ご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、このほど兼ねてよりお伝えしておりました、会員情報管理システムの運用を開始いたしました。つきましては、会員専用ページ（会員のみ接続可能）を設置いたしましたのでご案内申し上げます。本システムに関しましては、株式会社国際文献社へ業務委託することが理事会で承認され、業務委託に際し、守秘義務契約「個人情報の取り扱いに関する覚書」を取り交わし終結しております事を合わせてご報告申し上げます。

尚、本年度より年会費の請求は、会員専用ページより会員様ご本人で、ご確認頂くようになります。**2015年度年会費については、2015年4月1日付にて発行されました**のでお知らせいたします。必ずログイン頂きご確認くださいますようお願いいたします。

例年、年会費は前納をお願いしておりましたが、本年度に関しましては、システムの運用開始に合わせたため4月1日となりました。皆様にはご不便をおかけしました事お詫びいたしますとともに、次年度分より、従来通り前年度中の請求（前納）に戻りますので、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

また、4月は移動の季節となりますので、**ご登録情報にご変更がある場合は、速やかに登録情報の更新**をお願いいたします。

会員専用ページのご案内

会員専用ページ URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしております、株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが下記事務局までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム（1月にログイン）でご利用いただいたIDとパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、ID（会員番号）とこのメールを受信されたメールアドレスで、上記ウェブサイトにて照会できます。

何かご不明な点がございましたら、JSiSE事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

教育システム情報学会（JSiSE 本部事務局）

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101

Tel/Fax : 06-6324-7767 Email : secretariat@jsise.org

～年会費請求書ついて～

2015年度の年会費請求書に関しましては前ページでご案内させて頂いた通り、2015年4月1日付にて発行いたしました。つきましては、会員専用ページから会員様ご本人により、ダウンロードしていただきますようお願いいたします。また、ご納付には、クレジットカードでのお支払いをお薦めしております。是非ご協力頂きますようお願いいたします。

年会費未納の会員様につきましては、2014年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、定款の定めにより除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくごお願い致します。ご不明な点がございましたら、JSiSE事務局 E-mail: secretariat@jsise.org までお問い合わせ下さい。

◎ 年会費のご案内 ◎

■正会員 : 7,000 円	■入会金 : 1,000 円 (正会員・初年度のみ)
■学生会員 : 4,000 円	■研究報告年間購読 : 4,000 円 (購読希望者のみ)
■賛助会員 : 50,000 円 (一口)	

◎ お支払い方法 ◎

<p>●クレジットカードでのお支払い</p> <p>●コンビニエンスストアでのお支払い</p> <p>※会員専用ページよりお手続きください</p> <p>※出来るだけ上記お支払方法をご選択ください。</p>	<p>●ゆうちょ銀行でのお支払い</p> <p>口座番号 00180-6-709632</p> <p>口座名義人 一般社団法人教育システム情報学会</p> <p>フリガナ ｼﾞｻｲｼｽﾃﾑｼﾞ ﾖｸｶﾞ ﾞｶｲ</p> <p>※他銀行より 支店名 ○一九店 (ゼロイチキョウ)</p> <p>当座預金 0709632</p>
---	--



下記の皆様が新しくご入会されました。2015/2～2015/3

会員名	会員種別	会員名	会員種別	会員名	会員種別
所 吉彦	正会員	澁谷 恵美	学生会員	澤崎 敏文	正会員
結城 健太郎	正会員	菊内 由貴	学生会員	城谷 昭充	学生会員
藤本 祥之	学生会員	神沼 英里	正会員	大山 浩美	正会員
趙 秀敏	正会員	雲井 尚人	学生会員	竹生 久美子	学生会員
安藤 優子	学生会員	大橋 誠	学生会員	江崎 誠治	正会員
吉永 稔弘	学生会員	倉持 淳	正会員	石橋 和樹	学生会員
若山 昇	学生会員	篠原 智哉	学生会員	小田 悠介	学生会員
谷口 博紀	学生会員	塩澤 秀和	正会員		
合 計		正会員	9 名	学生会員	14 名

東海支部より活動報告

[講演会開催報告]

■日時：2015年5月16日(土)東海支部総会後、16時より

■会場：南山大学名古屋キャンパス

■概要：

講師：中村正治 先生（金城学院大学）

演題：学習評価の数理的解析

e-Learning システムにおける学習支援最適回数のモデルとモデルを用いた理解度測定について、効果的な学習者支援の視点から講演があった。

講師：野崎浩成 先生（愛知教育大学）

演題：テンプレートを活用した論文執筆指導

学生の卒業論文の執筆指導にテンプレートを活用する利点と欠点、および学生に対する適切な介入についての課題などが紹介され、講演後の質疑では活発な議論が交わされた。

北海道支部より活動報告

[北海道支部共催：講演会開催のご案内]

■日時：2015年6月20日 13時～

■場所：札幌学院大学

■講演表題：北海道における ICT 利活用教育の取り組み ―遠別町の事例紹介―

■開催講師：遠別町役場 総務課企画振興係 係長 佐藤克久氏

■主催：CIEC（コンピュータ利用教育学会）北海道支部

■共催：JSiSE（教育システム情報学会）北海道支部

■講演概要：遠別町は、千歳市、夕張市、栗山長、千歳科学技術大学との連携事業「ICT を活用した教育振興・連携事業」が2011年度に総務省の「地域 ICT 利活用広域連携事業」に採択されたことを契機に、継続的に ICT を利活用した教育に取り組んでいる。町内の小中学校に電子黒板を設置するとともに、全児童生徒にタブレット型端末(iPad)を貸与し、教室内外での学習の動機付けと質的向上、学力の向上に取り組んでいる。この取り組みの結果は検証の途中であるが、徐々に成果が見え始めている。本講演では、遠別町における、地域も含めた ICT 利活用体制整備の状況、小中学校における ICT 利活用事例を紹介する。

[北海道支部総会のご案内]

■日時：2015年6月22日(月)18:30～

■会場：北海道大学

※欠席される方は委任状のご提出をお願いいたします。

北海道支部の会員には別途メールで詳細を連絡いたします。

他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 日本感性工学会

「第17回日本感性工学会大会」

日時：2015年9月1日(火)～3日(木)

会場：文化学園大学 新都心キャンパス

協賛 情報処理学会情報処理教育委員会

「高校教科『情報』シンポジウム 2015年秋 (ジョーシン 2015秋)」

日時： ①2015年5月23日(土)10:00～17:00

②2015年10月2日(土)10:20～17:00

会場： ①大阪工業大学うめきたナレッジセンター

②早稲田大学西早稲田キャンパス

協賛 一社) 日本リハビリテーション工学協会

「SGI姿勢保持講習会 2015」

日時：2015年6月27日(土)9:45～28日(日)3:00

会場：東洋大学朝霞キャンパス

協賛 ヒューマンインタフェース学会

「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2015」

日時：2015年9月1日(火)～4日(金)

会場：公立はこだて未来大学

後援 日本シミュレーション&ゲーミング学会

「Hybridizing Simulation and Gaming in the Network Society」

日時：2015年7月17日(金)～21日(火)

会場：立命館大学朱雀キャンパス